

# 中田かわら版 1月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田連合地区経営委員会  
制作：中田かわら版制作編集委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所  
横浜市踊場地域ケアプラザ

## 20周年迎えた「くずの葉コーラス」

「この20年は山を一步一步登るような気持ちでしたね」。20年という歳月は土屋先生にとって、短かったのか長かったのかの質問に、最初に答えてくれた言葉だった。当時コミュニティの館長だった沢見（忠行）さんから10人くらいのお母さんたちのコーラスグループを託された時のことを思い出していたのかも知れない。多くの人は音符が読めない、音もちがうし、ハーモニーどころではなかったから。でも、みんな歌が好きで歌を歌いたいという情熱だけは伝わってきた。

葛野コミュニティハウスができたのは平成4年4月18日。土屋泰子先生が葛野小学校に校長として赴任されたのが翌年の1月。この年、同コミュニティの1周年記念の祝賀会でコーラスデビュー。しかし、「くずの葉コーラス」（代表 稀代素子・35人）としての誕生は平成5年5月9日である。平成8年3月に転校された後も引き続き「くずの葉コーラス」の指揮を執ってこられた。毎週木曜日の午後7時から1時間30分のレッスンで、月に4～5回のペース。その間、ピアノの伴奏は土屋先生とは息もぴったりの中井美枝先生だ。生徒たちには、私たちの声に合わせてくれて歌いやすいと好評だ。ここで使われているグランドピアノは中井先生個人のもので、地域の方に自由に使ってほしいと置かれているもの。いい音楽環境に恵まれている。1人ひとりが確実に力をつけた現在、5部、6部合唱も歌う。

同コーラスは2～3年おきに定期演奏会を開催、昨年5月で6回を数える。平成10年サンハート音楽ホール、同13年ひまわりの郷ホール、15年みなとみらい小ホール（10周年記念コンサート）。18年みなとみらい小ホール、21年ひまわりの郷ホール、24年女性フォーラム。この演奏会の素晴らしさは4ステージくらいに構成され抒情歌、童謡、宗教音楽、内外の民謡曲など広いパートから20数曲のラインアップを美声でこなす実力。それにメンバーの松岡眞美子さんがつくるポスターとプログラムが美しい。年間ステージとして6月、神奈川県合唱連盟の合唱祭（県立音楽堂）、10月、葛野コミュニティ文化祭、2月（隔年）横浜コーラルフェスト（みなとみらい大ホール）など。この会に入ると病気や引っ越しなど余程のこと



くずの葉コーラス 第6回定期演奏会 2012年5月20日

がない限り辞める人がいない。土屋・中井両先生のコンビがいかにも慕われ信頼されているかが分かる。入会したい人が「音符が読めません、悪声なんですけど」「いいのよ、気にしないで」と、温かく迎い入れる。来る人拒まずが土屋先生の主義。褒めることはあっても決して個人を中傷しない。いつも暖かくユーモアを忘れない。「メンバーの高齢化は声に影響ありませんか」。先生の答えは明快だ。年齢に関係はない、訓練で高音も出るし、逆に表情に豊かさがある。先生が旭区でやっている”おばあちゃん”ばかりのコーラス50人の平均年齢は83～84歳。元気な姿を見るとつい嬉しくなるとも。去年、「くずの葉」とジョイントコンサートで歌った「美しき青きドナウ河」は感激したと土屋先生。一生続けたいわね。でもクルマの運転ができなくなったらやめるかな。趣味は登山、水泳、フルーツ、オカリナ。中でも自慢の水泳では数々のメダル保持者だ。体力測定ではまだ40台とか。誇る体力でいつまでも頑張ってください。（編集委員・宮田貞夫）

～一人ひとりがCO<sub>2</sub>を減らす努力をし、美しい地球を子どもたちに残そう！～



指揮する土屋先生とピアノ伴奏する中井先生(右上)

# 2月のイベント

このチラシの情報をより詳しく知りたい方は、踊場地域ケアプラザ 葛西（かさい）まで問い合わせください。

TEL 801-2114 FAX 801-2923

## 【立場地区センターまつり】

2月15日(土)

- ・ 10:00～17:00 地区センター利用団体の実技発表や作品展示など

2月16日(日)

- ・ 9:00～12:00 中田中学校吹奏楽部、和泉小学校合唱団、バンド演奏、津軽三味線
- ・ 10:00～14:00 バザー
- ・ 10:00～16:00 作品展示
- ・ 10:00～ カレーライス販売

## 【囲碁将棋大会】

日時：2月9日(日)

受付：8:30 (9:10 開会式)

場所：中田町会館 2階

- ・ 今年の名人は誰の手に！恒例の囲碁将棋大会を開催します。

参加費：¥500- (昼食代)

参加者：小・中学生・一般 (高校生以上)

申込：各町内会・自治会文化部長まで

## 「いずみ」区版が「中田かわら版」を紹介

「いずみ」区版の12月号は中田地区の活動を紹介します、の特集ページ。1面全部を使って4分野の活動が紹介している。

①連合文化祭 (望月 榮) ②第2期泉区地域福祉保健計画 (石井マサ子) ③泉区案内人 (山本みち子) ④地域の広報紙 (宮田貞夫) で、それぞれのイベントや活動を4氏が執筆。「中田かわら版」では平成19年7月の創刊以来、1度の休みもなく発行し、今後もよろず情報を取材し、中田連合全世界へ、発信し地域の活性化に努めると結んでいる。

〈 **かわら版** 〉 12月の発行で79号を迎えた。掲載記事は、①福祉・保健のイベント ②町内会活動やボランティア活動 ③公共性が高い生活情報が中心で、中田連合の各種行事の案内はもちろんのこと、中田の歴史やサークル活動、障がい者施設の紹介、中田の発展に寄与された人の取材記事など、多岐にわたっています

## 相馬市の神社にみこし寄贈

御霊神社のみこし保存会 (小島英夫会長・150人) がこのほど東日本大震災で津波の被害を受けた福島県南相馬市の綿津見神社にみこし1基を寄贈した。同保会のメンバー8人がトラックに積み同神社に無事届けた。

今回の津波で多くの神社やみこしが流されたことを知り、使われていないみこしの寄贈先を探していた。地元では由緒ある神社で海岸から1.5キロの場所にあったが基礎部分だけを残して破壊、現在は仮小屋が建っている。来年4月には震災後初めて祭りを開催したいと相馬胤道宮司が申し出て実現。

保存会の中島孝さんは「地元になんか役立って喜んでもらえたらうれしい」と話していた。 (宮田)



「中田白百合地域情報サイト」にて地域の最新の情報や、かわら版バックナンバーなどを調べることができます。 [www.odoriba-cp.jp](http://www.odoriba-cp.jp) へアクセス！！